

令和8年4月19日

執行

滋賀県議会議員選挙公報

近江八幡市
竜王町選挙区
補欠選挙

滋賀県選挙管理委員会

病気を乗り越え、再始動!

胃がんの後遺症で逆流性食道炎を発症し、辛い症状と闘いながら議員活動を続けていましたが、悪化により体調を崩し議員活動に支障をきたすようになり、医師からの進言を受け辞職という道を選びました。皆様にはご心配をおかけして本当に申し訳ございませんでした。

その後、治療に専念し2月に退院、病気を乗り越えることができました。現在は症状が良くなり、現職時代より健康になりました。退院後、多くの方々から県議復帰の温かいお声をいただき、再度立候補することを決意致しました。変わらない情熱で、近江八幡市、竜王町、滋賀県のために、これまで、お支えいただきました感謝の気持ちを原動力に変えて、懸命に働きます。ご支援を賜りますようお願い申し上げます。 *入院中だったため自民党の公認申請はしていません。

福祉を、「ふだんのくらしのしあわせ」とし、心身に障害がある方、高齢である方、経済的な理由で生活が苦しい方など、日常生活を送る上で、支障がある方々を、社会全体で支え、守り、誰もが幸せな生活環境を整えるための制度や取り組みの充実を目指します。

皆さまと共に歩んだ実績

- 福祉・健康の増進と子育て支援体制の強化。●約200キロの湖周道路に自転車矢羽根型マーク、歩道確保の柵を設置。
- おうみの火祭り(左義長まつり、八幡まつり、篠田の花火)へ県費を拡充確保。
- 近江八幡市内、竜王町内の「県道：河川(日野川治水対策)：橋梁：治山」のインフラ整備費の拡充。
- 土地改良事業整備費、干拓地の実情を農林水産省と連携。農政水産事業の推進。
- 県事業「安土城復元プロジェクト」提案者として近江八幡市、県、国の連携。
- 八幡川のヘドロ浚渫、下流の護岸コンクリート整備。●西の湖の杭抜き、ヘドロ浄化対策。
- 安土城築城時に舟入として利用されていた「藤兵衛浜」のヘドロ浚渫、特別史跡化の実現。
- 竜王町内の滋賀県工業団地への企業誘致第1号から全区画契約の実現。

皆さまと共に取り組みたいこと

- 滋賀県庁移転議論(明治期、昭和期)の歴史に習い、令和の議論を再起。
- 傾注してきた安土城築城450年祭を本年に成功させ、安土城完成450年祭(3年後)を実現。当然「安土城再築城」の機運も醸成。同様に八幡山城築城450年、完成450年祭を実現。
- 「近江ナンバー」、「琵琶湖ナンバー」等のご当地ナンバー制を滋賀県内自治体の協力を頂き実現。
- 総務省へオンライン投票(利便性向上・入院中の方も)導入の働きかけ。

プロフィール
1964年11月生まれ たつ年 61歳
滋賀県立八日市高等学校卒、桜美林大学経済学部卒
(株)在原製作所(東京営業本部主任)
前 滋賀県議会議員(4期)
前 滋賀県議会 議長
前 自民党滋賀県連 幹事長
元 自民党滋賀県連 青年局長



公式 HP

ふだんのくらしのしあわせ



私たちが全力で「ありむら国俊」を応援しています!

- ・近江八幡市長 小西理 滋賀県農政連盟
- ・日野川グラウンド・ゴルフクラブ 会長 中川亨 前会長 原田芳夫
- ・ありむら国俊後援会 最高顧問 野瀬宇一郎 名誉会長 尾賀康裕 会長 矢野義男
幹事長 西川久米雄 事務局長 井之口博一 事務局次長 深尾甚一郎
安土町支部長 善住昌弘 副支部長 中江幸男 事務局長 松浦新
竜王町支部長 杉木捨蔵 副支部長 松浦博 事務局長 岡山治彦



ありむら国俊

地域に活力を未来に責任を

命と暮らしを守るインフラを動かす。停滞から躍動

私は西津善樹です。父の認知症介護を経験し、暮らしの不安と向き合ってきました。消防団歴30年、市議会議員3期12年などの現場経験を活かし、全ての世代が希望を持てる発展へと邁進します。



子育て・教育

- 実質的な子育て教育費負担軽減。地元企業への男性育休取得補助。多世代共生拠点による信頼と文化の伝承。

福祉

- 健康のための運動施設・建設促進。安心できる医療・介護体制づくりの促進。地域送迎サービスの拡充支援。様々な感染症等の予防対策。ひとり暮らし高齢者見守りや、老老介護への支援。障がい者自立支援。

防災・河川整備

- 地震や豪雨・浸水など自然災害の不安に備えた危機管理体制の充実。日野川等、安心安全を支える河川改修整備の推進。

暮らしを支える道路インフラ整備

- 国道8号線バイパス、県道2号線バイパス、湖南幹線道路等ほとんど進んでいない現状を変え、工程表と予算確保で前へ。

西の湖の水質改善

- 湖国滋賀の財産を再生し、次世代へつなぐ。

湖東地域の中小企業活性化

- 近江商人発祥の地として中小企業発展・事業継承を支援。地元商工業者による地域の発展を支援。

農政

- 基幹産業である農林漁業への支援政策の拡充。安心して農業経営に携わる事、挑戦が出来る仕組みづくり。

物価高対策

- 子育て世代、年金生活者、生活困窮者に大きな負担となっている物価高は、国策だけではなく、県や各自治体の対策が必要。

にしつよしき 西津善樹 プロフィール(経歴)

昭和47年12月21日生まれ
昭和60年 安土町立安土小学校卒業
昭和63年 安土町立安土中学校卒業
平成 3年 大谷高等学校卒業
平成 8年 日本文理大学卒業

自民党滋賀県支部連合会青年局 次長(元)
市議会議員3期12年
近江八幡市監査委員(元)
消防団30年(安土分団長)(元)
滋賀県商工会社青年部 副会長
近江八幡市遺族会青年部 副部長
富士と琵琶湖を結ぶ会会長(元)
MOA美術館近江八幡児童作品展実行委員長
父の認知症介護を経験
測量士/ホームヘルパー2級/柔道 初段



にしつよしき 西津善樹

投票日 4月19日(日)

※期日前投票・不在者投票の投票期間は

4月11日(土) (告示日の翌日) から 4月18日(土) (選挙期日の前日) までです。

令和8年4月19日

執行

滋賀県議会議員選挙公報

近江八幡市
竜王町選挙区
補欠選挙

滋賀県選挙管理委員会

未来へ責任。滋賀を強く豊かに。

近江八幡市・竜王町の未来を守る。現場主義。実行力。結果。



辻 ますたか

自民党公認

- 1 命を守る防災・減災**
- 日野川改修の着実な推進 ●事前防災型への転換
 - 老朽化砂防施設の総点検・更新 ●浸水・土砂災害対策の強化
 - 「災害が起きてから」ではなく“起こさない県政”へ
- 2 渋滞解消と道路ネットワーク強化**
- 国道8号バイパス整備推進 ●県道2号線改良
 - 中部湖東幹線の早期整備 ●通学路安全対策
 - 物流・通勤・救急搬送の円滑化 地域経済の基盤強化
- 3 拠点地域の宅地開発による人口戦略**
- 計画的宅地開発の推進 ●商業・医療・教育機能と連動した拠点形成
 - 子育て世帯の定住促進 ●空き家対策との戦略的連携
 - 「住む場所」をつくり 人口減少に歯止めをかける

- 4 医療・福祉・子育て支援の充実**
- 高齢者・障がい者支援強化 ●公共交通・移動支援
 - 地域医療体制の安定確保 ●教育・子育て環境の充実
 - 誰もが安心して暮らせる地域へ
- 5 農業・ものづくり産業の成長支援**
- 担い手確保と事業承継支援 ●中小企業支援強化
 - スマート農業推進 ●若者雇用創出
 - 稼げる地域、挑戦できる地域へ

10月の重点政策

自民党

私は「現場で結果を出す県政」を実行します。

プロフィール(経歴)

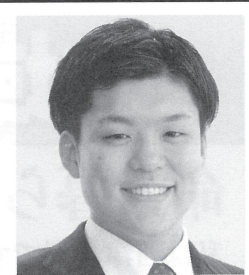
- 昭和34年 近江八幡市生
- 昭和57年 近畿大学農学部農学科卒
- 平成27年 近江八幡市議会議員に就任(1期目)
- // 31年 近江八幡市議会議員に就任(2期目)
- 令和元年~令和2年 近江八幡市監査委員
- // 5年 近江八幡市議会議員に就任(3期目)
- // 5年~ // 6年 近江八幡市議会副議長
- // 6年~ // 7年 近江八幡市議会議長(第15代)
- 地元をこよなく愛し、日々前進をモットーに活躍中!!
- 陸上・マリンスポーツ・囲碁 同居家族 母、妻、長男

辻まさたかの日々の活動をFacebookでチェック!▼

自民党 公認

滋賀の子どもたちの未来を守る

36歳



道下 なおき

みちした

道下なおきは滋賀をこうしたい!

日本一、産み育てやすい滋賀へ

出産・子育ての「経済的不安」を下げ、選べる社会へ

- ◆ 卵子凍結・無痛分娩への公的支援
- ◆ 新生児オプションスクリーニング検査の公費負担
- ◆ オムツ宅配便事業の県主導による標準化
- ◆ 多子世帯・多胎児支援 (N分N型県民税制度など)
- ◆ 第2子保育料の県内一律無償化

学び、働き、夢が叶う滋賀へ

学びと雇用を生み出し、若者が出ていなくて良い滋賀へ

- ◆ 近江八幡 竜王に県立中学校誘致
- ◆ 世界に通用する教育環境整備 (パブリックスクール誘致や Apple Google 認定校の推進)
- ◆ 制限付き給付型奨学金制度の創設
- ◆ 野洲駅止まり問題の緩和に向けた働きかけ
- ◆ 篠原周辺への企業・新幹線新駅誘致
- ◆ 農林漁業への ICT・スマート化支援

最後まで自分らしく暮らせる滋賀へ

老後を不安ではなく「安心と誇り」に

- ◆ 運動や健康受診による健康推進ポイントの導入
- ◆ エンディングノートの普及促進
- ◆ 幼老連携型施設の整備
- ◆ 日野川の河川改修・交通インフラ整備促進 (新国道8号・中部湖東幹線 県道2号バイパス等)
- ◆ 安土城築城 450年の成功

市議として実現してきたこと

- ・オムツ宅配便事業の導入
- ・母子手帳アプリの導入
- ・結婚新生活支援事業の導入
- ・学校給食無償化の推進
- ・兄弟児 同園ポイント加算

滋賀の未来を変えよう!

はじめまして36歳子育て世代の道下なおきです。近江八幡市議を2期務め、「給食費無償化」や「オムツ宅配便」などを実現しました。少子高齢化が進む今、これまでの政治では子ども達の未来は守れません。市議として子育て政策を実現してきた私が滋賀の未来を変えます。

道下なおき profile プロフィール

平成元年(1989) 12月5日生まれ 龍谷大学法学部卒
元 JAグリーン近江職員 元衆議院議員秘書
現 近江八幡市議会議員(二期目)
議会では「こどもまんなか社会実現」を掲げ、少子化対策・子育て政策に取り組む
家族 妻・子

道下直樹さんは、市民の声を政策に落とし込む力を持った政治家です。特に子育て支援の分野では、給食費無償化や母子手帳アプリなど、市民生活に直結する政策を提案してきた政策立案力を高く評価しています。

若い世代の視点を持ち、行動力と発信力を兼ね備えた政治家として、今後さらに広い舞台で力を発揮されることを期待しています。近江八幡、竜王そして滋賀の未来のために、引き続き活躍されることを願っています。

近江八幡市長 小西 理氏



投票日 4月19日(日)

※期日前投票・不在者投票の投票期間は

4月11日(土) (告示日の翌日) から 4月18日(土) (選挙期日の前日) までです。

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。